



2023 ANNUAL REPORT

Junior Chamber International Amagasaki



変わらない
ために
変わる

2023年度年間スケジュール

- 1月 6日[金] 貴布禰神社新年祈願
- 1月 6日[金] 尼崎商工会議所新年合同祝賀会
- 1月19日[木] 1月度理事会
- 1月21日[土] 京都会議LOMナイト
- 1月27日[金] 1月度新春例会 傾奇者~変わらないために変わる~
- 2月 9日[木] 2月度理事会
- 2月17日[金] 2月度例会 ~コンビニ店員だった私が業界No1になったワケ~
- 2月27日[月] 2月度定時総会
- 3月 9日[木] 3月度理事会
- 3月17日[金] 3月度例会 ~これから必要な創造力とは?~
- 3月19日[日] LOM役員懇談会
- 4月 6日[木] 4月度理事会
- 4月21日[金] 4月度例会 ~メタバースを取り入れた未来へ~
- 5月 7日[日] 5月度事業例会 あまらぶ旋風~きみが主役のSDGs~
- 5月19日[金] 5月度理事会
- 5月27日[土] わんぱく相撲尼崎場所
- 6月 6日[火] JCI副会頭公式訪問
- 6月 8日[木] 6月度理事会
- 6月11日[日] 阪神7青年会議所合同事業(芦屋) リアル野球盤~阪7の友情プレイボール~
- 6月16日[金] 6月度例会 考えてみよう~ルールって何なん?~
- 7月 6日[木] 7月度理事会
- 7月17日[月] 近畿地区大会姫路大会ブース出展
- 7月22日[土] サマーコンファレンスLOMナイト
- 7月30日[日] 7月度家族例会 ~No Family, No JC Life~
- 8月 5日[土] 青少年事業 じゅにあまひろば~ひろがれ!みんなのソウゾウリョク~事前準備(1日目)
- 8月 8日[火] 8月度理事会
- 8月19日[土] 8月度例会 ~JAPAN BANBOO FESTIVAL~
- 8月20日[日] 兵庫ブロック大会伊丹大会ブース出展

- 8月26日[土] 青少年事業 じゅにあまひろば~ひろがれ!みんなのソウゾウリョク~事前準備(2日目)
- 9月 5日[火] OB現役合同ゴルフコンペ
- 9月 8日[金] 9月度理事会
- 9月 9日[土] 青少年事業 じゅにあまひろば~ひろがれ!みんなのソウゾウリョク~事前準備(3日目)
- 9月12日[火] JCI台南公式訪問(1日目)
- 9月13日[水] JCI台南公式訪問(2日目)
- 9月14日[木] JCI台南公式訪問(3日目)
- 9月15日[金] 9月度例会 ~人生のハンドルを握ろう 助手席から運転席へ~
- 9月29日[金] 9月度臨時総会
- 9月30日[土] 青少年事業 じゅにあまひろば~ひろがれ!みんなのソウゾウリョク~
- 10月7日[土] 全国大会東京大会合同LOMナイト
- 10月13日[金] 10月度理事会
- 10月16日[月] 阪神7青年会議所合同例会(宝塚)
- 11月 9日[木] 11月度理事会
- 11月10日[金] 11月度スピーチ例会 ~次代に遺したい想い~
- 11月12日[日] 理事長杯 一棒入魂~CLUB JCIカップ~
- 11月23日[木] 兵庫ブロック協議会新旧合同懇親会LOMナイト
- 12月 2日[土] 12月度臨時総会
- 12月 2日[土] 12月度卒業例会 傾奇者~挑戦と感謝~
- 12月 7日[木] 阪神7青年会議所合同大忘年会(西宮)
- 12月23日[土] 12月度理事会





第64代理事長
小池 博之

まずは、2023年度、共にこの尼崎青年会議所の運営に携わってくれた理事役員の皆様、そして、各委員会にて十二分にスキルを発揮してくれたメンバーの皆様、さらに、新しくJCというスケジュールを自身の人生の中に組み込む決断をしてくれた新入会員の「愉会」のメンバー、最後に当会の活動に関わりを持ってくださった全ての皆様に感謝御礼申し上げます。

2023年度を振り返ると、「まちづくり」の出来る「人財(ひと)づくり」の1年でした。なぜなら、コロナ禍でのJC活動の縮小により、成功体験の少ないメンバーへのJCに対するポジティブな意識変革、そして会員減少による新たな人材の発掘が急務な課題であると捉えていたからです。自身が11年間、本気で向き合い成長することのできた「馴れ合いではなく、真剣にぶつかり合い、切磋琢磨することで、人、組織、まちのために想い行動できる人財を創出できる環境」を未来に紡ぐ。

「自分のためではなく未来のために本気で行動する。」

そう決断し、1年間駆け抜けることができた自分がいたのは、2024年度に控える尼崎青年会議所の65周年、そして兵庫ブロック大会の主管を務めるという重大な担いが待ち受けていたからです。ということを表向きに発信していましたが、本心を語ると、2021年度入会メンバーである「やったる会」のメンバーと出会えたからです。この後輩達にこの会を託したい、その一心で駆け抜けた1年でありました。

尼崎青年会議所の活動は64年間紡がれてきましたが、いつの時代も同じ課題があったわけではありません。その時代にあるまちの課題を調査・研究し、課題解決のために英知を振り絞り、勇気と情熱を持って実践する。その考えは不変であると私は考えています。

しかし、いつの時代も実践する運動は、先進的かつセンセーショナルであり続けてほしい。

過去に捉われるのではなく、先人に敬意を表しながら常に新しいインパクトある運動を展開する勇気と情熱を持ってほしい。それが「変わらないために変わる」というサブタイトルに込めた想いでした。

JCをしていると、事業等を一過性で終わらせてはいけないという人とよく出会います。しかしながら私は、64年間紡がれてきている尼崎青年会議所が、いつの時代も継続している限り、一過性で終わることは無いと考えています。

「記録を目指すのではなく、記憶に残るアクションを起こす。」

そのために、今の自分がない「常識外への挑戦」をできるのがこの尼崎青年会議所であってほしい。それが「傾奇者」に込めた想いでした。

この1年は全てが自分の想像通りではありませんでした。LOMのエンジンと言われる委員長達が本質は変わらないために努力し、勇気と情熱を持ってコンテンツを変えていく挑戦をしてくれたことで、想像を上回る1年を送ることができました。

そして、私の思いを汲み取り委員長を導いてくれた副理事長・常任がいたこと、見えない所で委員長のフォローをしてくれた最高の専務がいたこと、私1人では絶対に達成出来ないことを多様性あふれる「傾奇者達」がいたことでまさにインパクトある運動を発信することができました。

「誰よりも早く成長したいのであれば一人で挑戦しに行けばいい。」

そんなJCを経験する時間があってもいいと思います。

「より大きな運動を展開し、大きく成長したいのであればみんなで行けばいい。」

外に出てたくさんの仲間と出会うJCの時間があってもいいと思います。

色んな時間を経た先に全てのメンバーに伝えたいことは、「尼崎青年会議所、そして住み暮らすこのまちで、あなたが学んだ経験を必ず実践し、展開すること」

それが、理念である「こども達と夢を語る『まち』尼崎」の実現に繋がると信じています。

結びとなりますが、傾奇者ストーリーを邁進し、時代に紡ぐことができたのも皆様のご指導、ご支援の賜物であります。本当に素晴らしい機会をありがとうございました。

役員報告



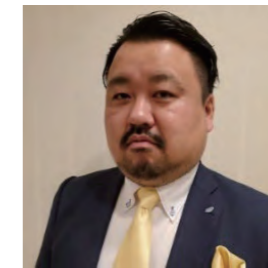
直前理事長兼監事
松田 鎮功

2023年度は直前理事と監事と言う2つの役職を担わしていただきました。まずは直前理事長として、予定者までではできる限りの意見をし、協力をする事で、2023年の運動をスムーズに発信できるように考えて行動をしていました。2023年度に入ってから、小池理事長の色が全面に出るように、できる限り目立たないように行動をしていたつもりですが、小池理事長や野坂専務の心遣いのおかげで各種大会など、たくさんの事業などに参加させていただき本当にただただ楽しいだけの一年を過ごさせていただきました。また、監事の方はなかなか理事会にも参加せず、皆様にはご迷惑をお掛け致しましたが、これも今年度委員長の皆様の議案書への向き合い方や予算書等の出来栄が本当に良かったからだと思います。ただ、卒業してからの監事職を経験した身からすると、大変難しいものがありました。やはり、現役メンバーとはモチベーションの差を感じる事が多くありました。次年度以降、OBの監事を配置することは熟考することをおすすめします。最後になりますが、本当にメンバーの皆様のおかげで、感謝感謝の一年を過ごすことができました。ありがとうございました。尼崎青年会議所の未来を誰よりも楽しみにしております。



監事
中村 航太郎

2023年度は、例会及び理事会における監事講評、理事会で審議対象となる議案に関する監事監査を行いました。理事会及び監事監査においては、監査責任者としてフラットな目線でこれまでのあり方に手を加えて模索しながら、計画議案・報告議案の大枠から細部に至るまで意見・指摘を行いました。また、コンプライアンスの遵守や予算の適正な執行に関して、明確な課題抽出ができ、未来につながる行動のあり方に寄与できたのではないかと考えています。本年度は監事ということもあり、これまでの活動とは違う視点で日々のJC活動や様々な事業に触れることができました。委員長の計画議案や例会・事業構築に取り組む姿勢を拝見して、苦難の中にも成長の機会があり、一見無駄に見える事柄でも、真剣に取り組むことで有益な学びがあるということを再認識させていただきました。委員長の皆様には多大な苦勞がかりましたが、次代へ繋ぐ架け橋として、その礎になったと思います。ご協力いただきました理事・役員・そしてメンバーの皆様には改めて感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



副理事長
狩集 義明

2023年度、地域連携委員会および青少年委員会の担当を務め、2023年を代表する事業に取り組みました。5月に開催された「あまらぶ旋風～きみが主役のSDGs～」事業では、尼崎市の住民の地域への関与意欲向上を目指しました。地域魅力再認識と参加へのきっかけ作りが求められ、市民の内面的な変革を促すことを目的とし、尼崎市と地域諸団体との連携も強化しました。SDGsを切り口に、小さな行動が地域活動と貢献に結びつくことを市民に伝え、尼崎の魅力と地域活動の価値を共有しました。対内では市民のリーダーシップ意識の向上を、対外では尼崎の魅力と地域活動の価値をアピールしました。また、青少年事業「じゅにあまひろば～ひろがれ！みんなのソウゾウリョク～」では、技術革新や社会変化に対応するためにこどもたちに主体的な関与と協力が求められるとし、成長と笑顔の創造を目指しました。来場者には新しい発想や創造力を育む機会を提供し、夢について語り合える場を設けました。2023年に協力していただいた皆様に深く感謝し、今後も尼崎青年会議所を共に盛り立てていくことを期待しております。



副理事長

高木 孝太郎

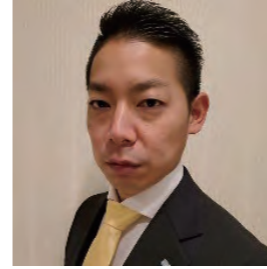
2023年度、広報委員会の担当を務め、副理事長として会の運営に携わらせていただきました。広報計画の作成と推進業務では、市民と行政、企業とがつながり、まちの発展や架け橋となれるよう、情報が集まるポータルサイト「あまコミ」を運営しました。尼崎青年会議所の創始の理念である「こども達と夢を語れる『まち』尼崎」の実現に向けて、子育て世代の情報に特化して発信しました。また、我々の運動の理念に共感いただき賛助会員になっていただける企業の窓口業務も務めました。7月度例会では、仕事とJCの両立で家族との時間が取れないことが多い中、日頃の感謝の気持ち伝える家族例会を実施しました。2019年以来の家族例会となり、BBQやスプラッシュバトルではこども達の笑顔が見られたのが印象的でした。12月度卒業例会では、卒業生が得た学びや想いを継承するために、2023年度のスローガン「傾奇者」の運動を締めくくべく、都ホテル尼崎にて盛大に開催しました。2023年度は、「あまコミ」を中心とした広報業務にて、コロナ禍で希薄化していた地域とのつながりを持つことができました。このつながりを一過性のものにするのではなく大切に、我々の理念である「こども達と夢を語れる『まち』尼崎」の実現に向けて共感の輪が拡げられるように邁進してまいります。



副理事長

古田 雄哉

2023年度は渉外アカデミー委員会担当の副理事長として職務にあたりました。渉外アカデミー委員会では4月、8月の例会設営及び京都会議、サマコン、全国大会の各種大会参加推進業務に加えて、姉妹JCに対する窓口業務として台湾の台南JCとの交流をおこないました。近年尼崎JCでも若手メンバーが増え、出向の機会や国際の機会については一層重要度を増してくると思われま。コロナ禍もあり、しばらく台南JCとは直接の交流ができていませんでしたが、委員長やかつて交流の担当をされていたシニアのご協力などもあり、4月、7月、9月と三回台湾の地を訪れ、2024年度以降の交流について合意を形成することができました。9月の訪問の際には国内姉妹JCである岡山青年会議所ともご一緒し、共に関係性の構築について協議をすることができました。また、各種大会においては積極的な参加推進をおこない、日本JCの行っている活動の周知・理解促進を図ることができ、また、尼崎JCの団結力を高めることもできました。1年間ありがとうございました。



常任理事

小原 卓也

2023年度は、地域連携委員会と青少年委員会の2つの常任理事を担当いたしました。地域連携委員会では【1月度新春例会傾奇者～変わらないために変わる～】から始まり【5月度事業例会あまらぶ旋風～きみが主役のSDGs～】【11月度スピーチ例会～次代に遺したい想い～】と3つの例会を担当しました。その中でも5月度事業例会では、多くの市民の方を巻き込むができ、尼崎の魅力の再発見や、地域活動への参画意識の向上が促進できたと考えます。青少年委員会では【3月度例会～これから必要な創造力とは？～】【青少年事業じゅにあまひろば～ひろがれ！みんなのソウゾウリョク～】など1つの例会と1つの事業を担当しました。青少年事業ではこども達が主体となり夏休み期間からブースの企画から準備まで担当してもらい、事業当日には多くの市民の方が参加していただきました。こども達もブースや普段あまり経験する事のない遊びや職業体験を通して、創造力を育むことが出来ました。2023年度尼崎青年会議所は多くの市民を巻き込む事ができました。創始の理念でもある「こども達と夢を語れる『まち』尼崎」の実現に向け、変わらないために変わる様に次年度も邁進してまいります。1年間ありがとうございました。



常任理事

田中 健

広報委員会の常任理事を担当させていただきました。広報委員会では日々の広報業務と2つの例会(7月度家族例会・12月度卒業例会)の職務を遂行致しました。現在の広報業務は各種SNSの配信から動画作成まで多岐にわたり、またそのセンスも問われるなど、その内容は目まぐるしく変化しております。その中でも青年会議所運動の発信に於いて、最もマッチするような方法を模索して、広報発信を1年間展開することができました。これもひとえに、藤井委員長を中心とする委員会メンバーが結束して実直に活動してきた賜物であります。また2つの例会設営に於いては、多くのメンバーの家族にご参加いただき、青年会議所活動に対する効果的なインナーブランディングを果たすことができたと考えております。2023年度の広報委員会の活動は、青年会議所運動の発信だけに留まらず、尼崎の魅力や地域の各種団体の運動を積極的に発信することで、オール尼崎として活動して参りました。その結果、2023年度の尼崎青年会議所の運動は、多くの市民の皆さまを巻き込む事ができました。小池理事長の掲げられたスローガン「傾奇者～変わらないために変わる」の下、愛する尼崎の為に、年間、その理事役員として活動できたことは光栄に存じます。1年間、当会の活動にご尽力賜りました全ての皆さまにも深く感謝申し上げます。



会員拡大会議議長

二正寺 淳也

「多様性に溢れる100名が明るい豊かな社会のために心ひとつに邁進するLOM」をビジョンに掲げ、100名LOMの復活を目指し、会員拡大会議という会議体での全員拡大を行ってまいりました。まずは自らの職務があるにも関わらずLOM内から出向していただきました各常任理事、各委員長の皆様に感謝申し上げます。この横の連携ができたことが多数の仲間を迎え入れることができた一つのポイントだと考えます。また、正副理事長会議と理事会に会員拡大について協議する時間を設けたことにより、現状報告と課題の洗い出しを行ったことで、理事・役員メンバーが先頭に立って拡大について意識するきっかけとなりました。その結果、女性会員の増加や、在籍期間が5年以上となる新入会員が過半数以上など、今後の尼崎青年会議所の中心となりうるメンバーの入会にも繋がり、大きく拡大に成功することができました。100名LOM復活の目標には届きませんでした。が、間違いなく拡大への意識が変わった1年となりました。今後、ブロック大会、65周年が控えていますが、この勢いのまま会員拡大にも注力できるよう邁進してまいります。最後になりましたが、ご協力いただきました理事・役員メンバーの皆様、ありがとうございました。そして韓副議長、本当にお疲れ様でした。



専務理事

野坂 拓良

総務委員会と事務局を担当しながら、会の運営に専務理事として携わらせていただきました。総務委員会は、2つの例会、3つの総会、手帳作成を主に実施しました。例会ではパネルディスカッションやプレゼンテーションを企画するなど、計画段階から右往左往しましたが、メンバーの皆さまの協力により、無事に実施することができました。この場を借りて感謝申し上げます。総会では特筆すべき点として、2024年度に向けて諸規則の改訂を12月に行いました。この改訂により、役員選挙や正会員の入会手続といった会の根幹部分がより効果的かつ効率的になるものと考えています。尼崎青年会議所の未来を創る新たな一歩になると確信しています。また、事務局員の産休・育休の取得により事務局にも大きな変化がありました。今後は事務作業にもIT技術などを取り入れ、メンバーでも処理できるよう改革していく必要性があります。そうすることで、事務作業の負担も分散され、事務局の運営も効率化されていくと思います。一朝一夕では解決することは困難ですが、次年度も引き続き事務局運営にも力を入れ、より良い尼崎青年会議所の環境をつくってまいります。1年間、本当にありがとうございました。



常任理事

福崎 智人

2023年度は、渉外アカデミー委員会の常任理事を担当させていただきました。渉外アカデミー委員会では、先進技術を導入し、これまで無い新たなコミュニケーションを取るアイデアを生み出す経験ができる例会を開催することができました。また、7月度例会におきましては、姉妹JCでもあります台南JCをお招きし、交流を深めることで姉妹JCとしてより強固となりました。世界に目を向け、交流を深め行動し、視野を広げた結果、メンバーのみんなに経験を落とし込むことで、世界に興味を持ち交流を深める機会を提供できました。次年度は、これらの経験を活かし、尼崎青年会議所65周年の式典や事業、兵庫ブロック大会尼崎大会に尽力してまいります。1年間ありがとうございました。



常任理事

増山 晋哉

今年度は総務委員会の担当常任理事を務めさせていただくとともに、兵庫ブロック協議会に委員長として出向させていただきました。総務委員会においては、会員名簿である手帳の作成・交付、年3回の社員総会の開催、6月度・9月度例会の開催、アニュアルレポートの企画作成、その他理事会等の会議の設営など、多岐にわたる担いがありました。委員長をはじめとするスタッフだけでは手が回らず、委員会メンバーに助けられて、何とか全ての職務を全うすることができました。協力いただいた総務委員会のすべてのメンバーに対して感謝申し上げます。また、兵庫ブロック協議会においては、ブランディング戦略委員会を担当させていただきました。コロナ禍も終わりを迎えたため、各地で様々な事業が行われる中、兵庫県内の様々な地域を訪問させていただくとともに、ASPACジャカルタ大会にブース出展者として参加させていただきました。兵庫県内23LOMの魅力に触れるとともに、世界規模にまで広がる青年会議所のダイナミックな姿を体感することができました。次年度は、これらの経験を活かし、尼崎青年会議所65周年の式典や事業、兵庫ブロック大会尼崎大会に尽力してまいります。1年間ありがとうございました。



総務委員会

目的は共に、
インクルージョンな
組織であり続けよう



総務委員会
委員長
野村 亮太

2023年度の総務委員長を引き受けたのは、小池博之理事長からやってくれないかと言われたということが根本になっています。どうせするのなら全ての意見は自分が受け止めて、オモシロいことをしようと考えて1年間動いてみました。本年度の総務委員会は、会議運営の他、主として6月・9月の2回の例会実施、会員手帳に加え、尼崎JCとしては初めてとなるアニュアルレポートの作成に取り組みました。議事録などの会議運営を任せても「やり方が分からない」といった反応が出てくるので、まずは、メンバーが、従前の慣例や、誰かに言われたという理由で動いていることが多々散見されていたことを変えてみようと思い、「考えてみよう〜ルールって何なん?〜」というタイトルで6月例会に講師としてOBを呼び、策定されたルールにオカシイと思うことがあるなら言えば良いという意識を根付かせることにしました。6月例会の場に、阪神7LOMの理事長や尼崎JCのOBの方が多数来てくださったことを嬉しく思います。そして、9月例会は、失敗しても良いので、副委員長を始めとする総務委員会のメンバーに任せて実行しました。私が本年度のなかで一番嬉しくてオモシロかったことは、総務委員会のメンバーが例会を「私達なら何かを変えていける?〜人生のハンドルを握ろう 助手席から運転席へ〜」のタイトルで実施したこと。さらに、会議運営や種々の文書作成については、総務委員会だけでなく理事役員の方を含めメンバーにも協力してもらい、実施することができました。2023年度のスローガンである「傾奇者〜変わらないために変わる〜」という運営・活動を行ってきた中で、総務委員会としては当初思い描いていた通りにならないこともありましたが、携わってくれた方々が何かが変わるきっかけとなり、今後も、来年度以降をも見据えた運動・活動をしていきます。





広報委員会

まちに必要とされる
サーバントリーダーが
溢れる組織を確立しよう



広報委員会
委員長
藤井 嵩士

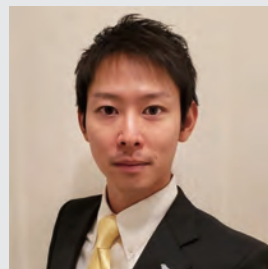
広報委員会では、ホームページとSNSの管理、ポータルサイト運営、また2つの例会を実施させて頂きました。広報計画として、2023年度は多くの種類のSNSを活用し、例年より多く投稿を実施させて頂きました。SNSを通じ、当会議所の運動や活動の姿をご覧頂き、アカウントフォローも増加し、より多くの方に尼崎青年会議所に興味を持って頂くことができました。また「子育て支援」をテーマとしたポータルサイトを運営させて頂きました。サイト運営を通じて、関わった地域の方に、尼崎青年会議所の取り組みやポータルサイト運営の運動に共感頂き、サイト運営に携わってもらえ、また賛助会員にご入会頂くこともできました。7月度家族例会では、ご家族をゲストとしてお招きし、BBQを実施致しました。終始こども達の笑顔が溢れ、会員含め家族同士の交流を深めることができました。ご家族の皆様には例会を楽しんで頂くとともに、また自分のパートナーが普段活動している仲間や尼崎青年会議所がどんな組織なのかを知ってもらいました。日頃から、青年会議所活動を支えて頂き、感謝申し上げます。12月度卒業例会では、卒業式をはじめ、褒賞授与式、プレジデンシャル伝達式を実施致しました。演出は動画をメインとし、各動画に意味や、卒業生の想いを込め、伝えたいことを表現しました。2024年度に、新たなことへ挑戦する原動力となる例会にできたと考えます。全ての職務を通じ、委員長として貴重な経験ができ、また一年間切磋琢磨してくれたスタッフと委員会メンバーへ、この場を借りて感謝申し上げます。一年間、本当に有り難うございました。





渉外アカデミー委員会

百聞は一見に如かず、共に新しい世界を体感しに行こう



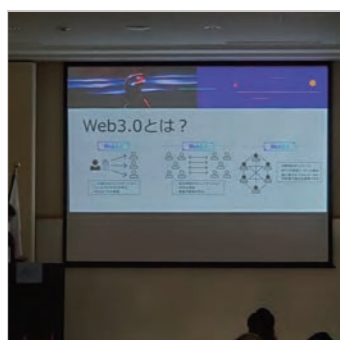
渉外アカデミー委員会
委員長
松井 雄馬

2023年、尼崎青年会議所は、変化に富んだ時代の中で、革新的な手法を駆使しながら、その本質を見失わずに活動を展開しました。伝統的な直接交流に制限が加わったことを契機に、メタバースを含む先進技術の導入を積極的に推進し、新たなコミュニケーション手段とアイデアの創出を実現しました。

年初には、所信表明を共有することでメンバーのモチベーションを高め、団結力のあるスタートを切ることができました。メタバースを用いたイベントの開催は、メンバーにとって先進的な視野を提供し、同時に組織としての魅力を高める機会となりました。また、この年は青年会議所活動においてデジタル技術の活用を推進し、新しいタイプのミーティングやワークショップを実施。これにより、従来の枠を超えたアイデアとコラボレーションが生まれました。

国際的な理解を深めるため、世界中の青年会議所との交流を強化しました。異文化間の対話を通じて、多様な視点と価値観を共有し、国際的なネットワークを構築。この経験は、メンバーにとって新たな視野を開くと同時に、尼崎青年会議所の国際的な存在感を高めることにも寄与しました。

最終的に、尼崎青年会議所は国内外でのJC活動を通じて、グローバルな視点の獲得と会員の能力開発に注力しました。これらの経験を基に、「こども達と夢を語れる『まち』尼崎」の実現に貢献。多様な機会に触れ、行動力を発揮することで、尼崎青年会議所はさらなる成長を遂げ、未来に向けた強固な基盤を築き上げました。





地域連携委員会

未来の子ども達に、
今の自分達が語り継がれる
新たな「歴史」を創出しよう



地域連携委員会
委員長
芝 翔大

2023年度の地域連携委員長として、大きくは3つの事業を担当しました。一つ目は新春例会。理事長所信を共感し、一年間の運動を推進する意欲を高める目的で開催しました。多くの来賓を招き、露の団姫氏の落語の披露などが行われました。最終的に90%の出席率ということで、傾奇者のスタートダッシュを切ることができたと思います。次に担当したのが5月度事業例会「あまらぶ旋風〜きみが主役のSDGs〜」。メンバーには大きな事業を運営することで、市民の意識に変革を起こすリーダーとしての意識を高めることを目的に、また、市民の皆様には尼崎の魅力や地域活動に価値を見出してもらうことを目的に企画しました。開催場所のポートレース尼崎を使用するために様々な壁があり、事業実施まで委員会全体で走り回ったのは記憶に残っています。結果として、尼崎市、あまがさき観光局との共催。そして阪神電気鉄道株式会社様、尼崎信用金庫様の協力を受け、まさに地域と連携した大きな事業を成功させることができたと考えます。3つ目は11月度スピーチ例会。8名の卒業生がそれぞれの立場、それぞれのJCをもとに次代に遺したい想いをテーマにスピーチを行いました。単純にJC歴だけでは判断できないほどに様々な想いを残るメンバーに伝えていただくことができたと考えます。担当した大きな事業は主にこの3つですが、地域連携委員会として何よりも成功したことは委員会運営だと考えます。常にスタッフ3人が連携をし、委員会メンバーそれぞれに役割があり、誰1人として取り残さない想いで委員会を開催しました。副委員長、幹事の全面的なサポートのおかげで、大勢の委員会メンバーで溢れる委員会を毎月開催出来たことは幸せでした。次年度以降の委員長の皆様にも、委員会メンバーを誰1人取り残さずに年間引継ぎ張って委員会を運営していただきたいと思っています。





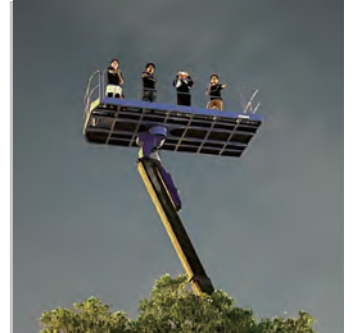
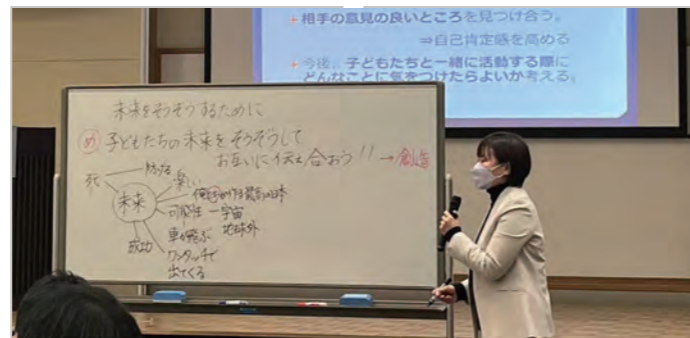
青少年委員会

今、ここにいる未来は、
自分たちで創る



青少年委員会
委員長
橋本 大輔

2023年度の青少年委員会は、こども達の発想力や創造力などの能力をテーマに2つの事業を担当させていただきました。まず3月度例会では、大阪教育大学附属平野小学校副校長の南先生をお招きして、メンバーに発想力や創造力の重要性や、その能力を伸ばす為に大人がこどもにどう接すればいいかなどを学んでいただく為に、授業をしていただきました。授業のあとに講師の進行のもとこども達の未来について考えるグループワークを行い、メンバー同士で様々な意見をだしてもらった結果、自分とは違う意見を聞く事で新しい観点や発想を持っていただけたと考えております。次に青少年事業では、事業と一緒に作る設営側のこどもと、一般で来場してもらうこどもを対象とした事業を行いました。設営側のこども達にはブース運営を行ってもらい、企画・準備・運営をメンバーと一緒にを行い、こどもの自由な発想を生かしたブースを創っていただきました。来場してもらうこども達には、尼崎ではあまり経験する事のない雪遊びや、様々な職業体験を通して視野を広げてもらい、新しい発想や創造力を育む機会を提供しました。夜にはこども達の夢を書いた紙灯籠を「未来」の形に並べて点灯し、夢について語り合い、イメージする場を設けました。非常に多くの人々が来場していただき大成功で終わられたのも、協賛企業様やブース出店者様など、この事業に関わっていただいた方達の協力のおかげです。ありがとうございました。最後になりますが委員長として一年間委員会運営を全うできたのもスタッフをはじめ委員会メンバーに支えていただいたからこそです。本当にありがとうございました。





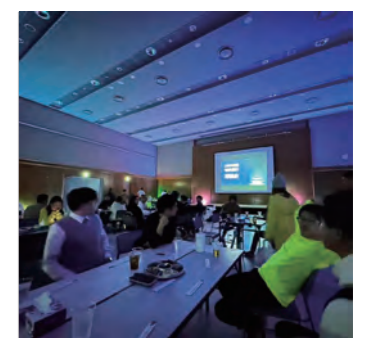
会員拡大会議

面白い!!と感じる起点の創出!!
新しい出会いを楽しもう



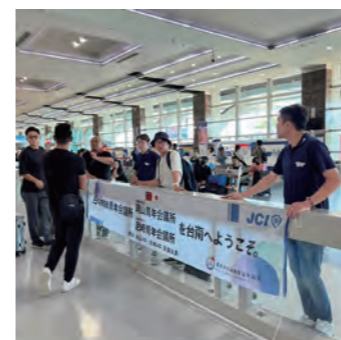
会員拡大会議
副議長
韓 将植

2023年度は会員拡大会議の副議長として活動させていただきました。まずは小池理事長が掲げた【会員拡大】への高い目標に向かって心ひとつに尽力して下さったすべてのメンバーとシニア、すべての方々へ感謝申し上げます。尼崎青年会議所メンバーが激減している現実を目を背けず、何のために、何をしたいから、何をしなければいけないからを皆んなで考えて、ひたすらに駆け抜けた時間でした。【会員拡大】の重要性、必要性を分かち合うためのセミナーや例会を開き、異業種交流会、各種イベント、ランチ会などを幾度となく企画し、開催、運営してきました。そして毎日、人と会うことに専念しました。青年会議所の魅力や可能性、理念などをわかりやすく熱く伝えると共に一人一人に合った時間、場所、タイミング、話し方、導き方、連絡の仕方などを大切にしながら向き合ってきました。その結果、数えきれないほど多くの方々と出会い、青年会議所を知る人が増え、最高に素晴らしい新入会員を迎えることが出来ました。何かを成し遂げるためには、やはり【人】が重要です。これからも魅力あふれる青年会議所として、活動を展開していきなかつてより多くの熱いメンバーが増え続けることによって発展の角度、速度が大きく変わってきます。会員の増加が多い年、少ない年があつてはいけない。2023年度の活動のなかで私はそう強く思いました。自身が入つて良かったと思っているのなら、周りにいる大切な人、情熱や向上心に満ち溢れた人たちにどんどん声をかけていきましょう。必ず世界を変えることができる。強く信じて進み続けましょう。



世界との友情

—
国際交流



(1) 会員数データ

期首会員数	53名
新入会員数	36名
期末会員数	89名
卒業会員数	8名

(2) 2023年度卒業会員一覧

稲葉 秀樹 君・岩田 稔 君・川西 康夫 君・小池 博之 君
清水 敏彰 君・田中 健 君・橋本 大輔 君・三浦 拓郎 君

(3) 2023年度褒賞結果一覧

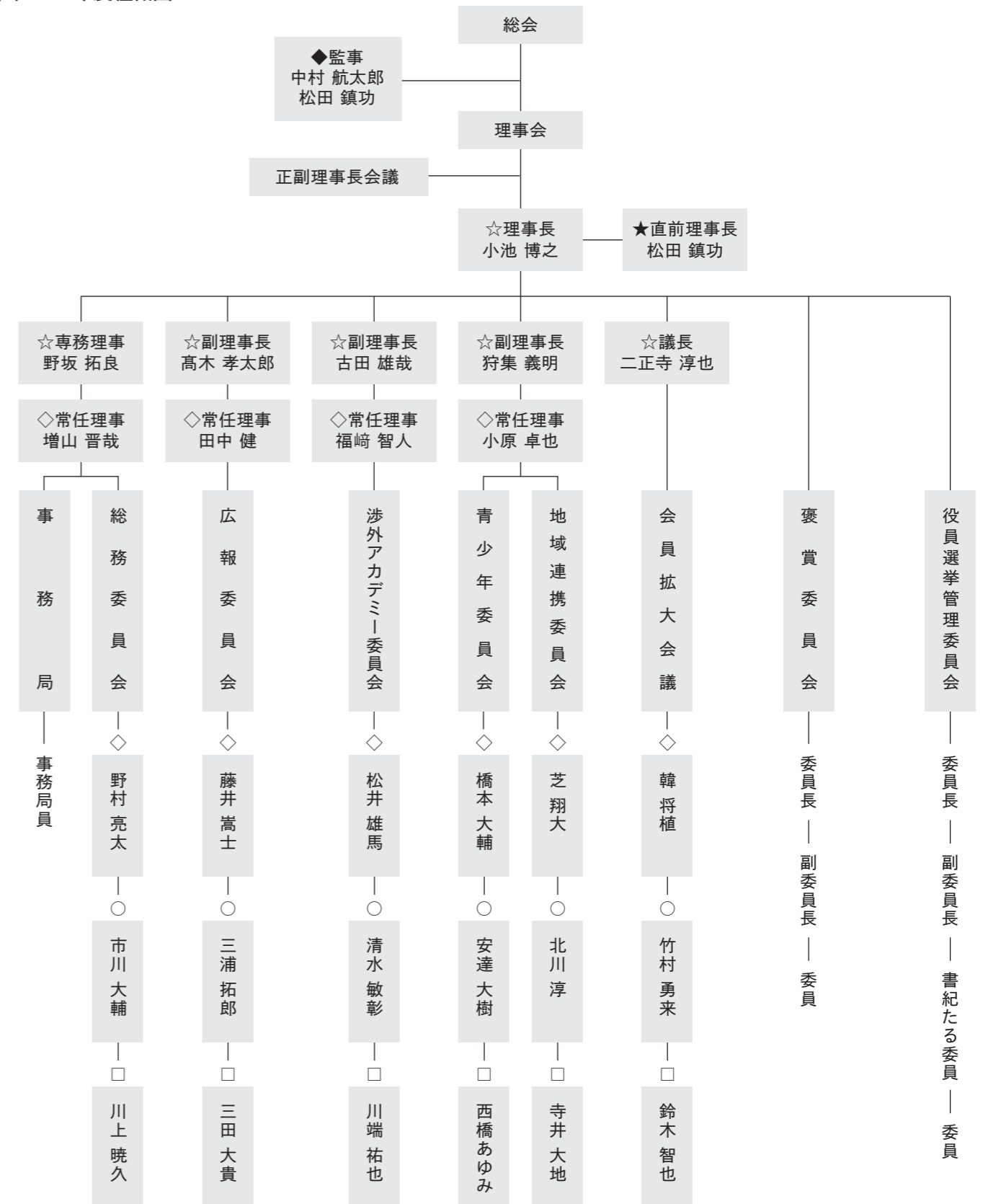
最優秀出向者賞……副理事長 古田 雄哉 君(公益社団法人日本青年会議所 国家グループ 国の安全確立委員会 副委員長)
最優秀新人賞……広報委員会委員 湯浅 さやか 君
最優秀JAYCEE賞……青少年委員会委員 松本 章宏 君
最優秀事業賞……青少年委員会 じゅにあまひろぼ~ひろがれ!みんなのソウゾウリョク~
最優秀委員会賞……地域連携委員会
褒賞委員会特別賞・渉外アカデミー委員会委員/役員選挙管理委員会委員長 川西 康夫 君
理事長特別賞……会員拡大会議議員/総務委員会委員 湊 洋介 君

例会皆出席者賞

- 1年 増山 晋哉 君・野村 亮太 君・松本 章宏 君・寺井 大地 君・黒田 隼人 君・三浦 拓郎 君
三田 大貴 君・湯浅 さやか 君・川西 康夫 君
2年 中村 航太郎 君・小原 卓也 君・芝 翔大 君・藤井 嵩士 君・韓 将植 君・松井 雄馬 君
3年 該当者なし
4年 該当者なし
5年 田中 健 君・高木 孝太郎 君・小池 博之 君
6年 野坂 拓良 君
7年 二正寺 淳也 君
8年 該当者なし
9年 該当者なし
10年 該当者なし

※期間は2022年12月度例会から2023年10月度例会までの1年としています。

(4) 2023年度組織図



- ☆ 正副理事長会議及び理事会構成メンバー(議決権あり)
- ★ 正副理事長会議及び理事会構成メンバー(議決権なし)
- ◆ 理事会構成メンバー(議決権なし)
- ◇ 委員長(会員拡大会議は副議長) 理事会構成メンバー(議決権あり)
- 副委員長(会員拡大会議は総括幹事)
- 幹事(会員拡大会議は運営幹事)

傾奇者

～変わらないために変わる～

第64代理事長 小池 博之

歌舞伎の語源は「傾(かぶ)く」。流行の最先端をいく奇抜なファッション、世間の常識はお構いなしの「かぶき者」をまねた扮装で見せたのが、歌舞伎のルーツといわれる「かぶき踊り」である。既存の考えに捉われずに流行を取り入れて人々を楽しませる。それは、歌舞伎が絶えず受け継いできた精神とされています。そして、歌舞伎を成り立たせているのは、『芝居』、『舞踊』、『音楽』。この3要素で楽しませることを追求し、一つの総合芸術にまで磨き上げてきた歴史があります。各時代における観客の趣味嗜好を反映し、面白いものを貪欲に取り込み、楽しませるための工夫や努力を重ねた結果が、歌舞伎を多彩な伝統芸能へと昇華させ、国の重要無形文化財として人々に認知されるまでに至りました。そして今では、その積み重ねられてきたレパートリーは700演目以上存在し、基本は“ロングラン”、一つの作品に、演者や裏方の数えきれない工夫が重ねられ、今現在の集大成が目の前の舞台に広がっている。それが歌舞伎の400年の歴史とされています。

尼崎青年会議所には63年の歴史があります。設立趣意書にある「今日の青年は明日の指導者」の言葉とともにJC活動や運動を今日まで展開し、「子ども達と夢を語れる「まち」尼崎」を目指すという創立時の理念はどのような社会状況下においても変わることなく未来へ託していかねばならない本質であります。

そして尼崎青年会議所を成り立たせているのは、『奉仕』、『修練』、『友情』、この3要素で本質を追求しながらも各時代に即した変化を遂げ、今日まで、『明るい豊かな社会』を実現するために積み重ねられてきた歴史があります。

しかしながら、現在の尼崎青年会議所は、各時代におけるまちの課題を追求し、必要とされるものを貪欲に取り込み、メンバーが成長できるための工夫や努力を重ねて市民を巻き込む事でこの地域にインパクトを残せる運動を展開できていると言えるでしょうか。私には、現在の尼崎青年会議所は、先人が築き上げた過去のレパートリーに頼り切ってしまう状況に陥っているように見えます。今の時代を担う我々が、ポジティブに創造し、実行する環境を整備することなく今の時代に即した変化を成し遂げる。全ては、「子ども達と夢を語れる「まち」尼崎」を目指し続けるために。

【最高の人生経験と言える起点作り】

まずは新たな仲間を増やす。拡大を1年の最優先課題とします。

尼崎青年会議所は入会年度が3年未満の会員が半数近くを占める現状にあり、近年の人災や疫病により本来の青年会議所の運動を体感できていないメンバーは増加しており、懇親を深め友情が育まれる機会も減少している社会の中、先輩諸兄の道標を踏襲するだけでは本来の青年会議所の「奉仕・修練・友情」を体現できない現状となっています。そのような環境化において、「プロジェクトリーダー=委員長」に一任するだけの組閣では新たな仲間は創出できません。緻密な短中期の計画と、緻密な役割分担と、その成果を各会議で共有し、メンバーが一丸となって新たな仲間を迎え入れる意識を高揚させなければならぬと考えています。そして理事長から全体に対して頻繁に周知をおこなうことはもちろん、理事長自身が活動に本気になりメンバーと共に行動し続けることで、自然と結果が出てくると確信します。しかしながら、ただ数がいれば良いわけではありません、新たな仲間がポジティブに成長でき、楽しい時間を共有できる環境構築には各委員会の職務が重要です。青年会議所の活動に費やす時間的価値を見出していただけのように、全委員会、全会員に分け隔てなく「和」を広げる意識を念頭に置いてもらう背中を見せ、職務を全うしていただきたい。1年しかない限りある時間、まちをより良くしたいと思う市民で溢れる尼崎を目指し、志同じくする仲間を集い、力を合わせて共に未来を創造しましょう。

「面白い!!と感じる起点の創出!!新しい出会いを楽しもう。」

【多様性溢れる時代に即した組織運営】

青年会議所はピラミッド型の組織として構成されていますが、現役会員が少子高齢化の世代へと移り、会員数が減少傾向にある中、経験や役職があるからといってよいアイデアが生まれるとは限らないと考えます。地域や組織の未来のために本気で取り組み、より良い変化をもたらすアイデアを見出す力を持つ人が【プロジェクトリーダー=委員長】となりアクティブに、そしてポジティブに実行できる組織で在り続けなければ未来の担い手は創出できません。そして、組織構成や役職はあくまで形であり、全員が目指すべき目標は、尼崎青年会議所の理念である「子ども達と夢を語れる「まち」尼崎」の実現に向けて取り組むことに変わりはありません。

各職務の最高責任者である副理事長と常任理事は、【プロジェクトリーダー=委員長】が輝ける状態を維持し、多様性を尊重し、認め合うことで、相乗効果が生まれるチームを創造することが責務であり、各会議での建設的な意見を取り入れ運動を最大限の効果に引き上げる事が重要であります。

尼崎青年会議所では、スタッフ会議、委員会、正副理事長会議、監事監査、理事会、総会といった多くの種類の会議を経て、あらゆる視点からその事業に参加した人々への効果をイメージし検討を重ねます。なぜ、このような種類の会議が存在するのでしょうか。答えは単純です。各会議体で議論されるべき内容が異なるからです。

各会議体の存在意義を常に役員全員が意識し、その役割として本来、議論すべき内容に徹することで、各会議における成果が生まれ、それらの成果が集約された結果として、インパクトある運動を生み出す事業計画書が完成に至るとともに、時代に即したスマートな会議運営が実行できます。

青年会議所という組織として、その運動が最大の効果を生み出すことができるように、メンバー全員が活動に参画する機会を持ち、それぞれの経験や能力、考え方が認められ活かされている状態を創造し、各会議の構成メンバーはその会議内における自らの役割を全うしていきましょう。

全会員が目的達成のために、当事者意識をもって挑戦できる環境を創造できれば、次世代のリーダーを持続的に育成することが可能となり、これからも地域に必要とされる組織で在り続けることができます。

この時代の変化を好機と捉え、「子ども達と夢を語れる「まち」尼崎」の理念を見失うことなく、青年会議所の組織運営を精査し、今を生きる我々が当事者意識を持ち、数えきれない工夫を重ねることで、時代に即したスタイルへと変化させ、未来に続く“ポジティブなロングラン”の礎を築き上げましょう。

『目的は共に、インクルージョンな組織であり続けよう』

【情報のハブとしての起点作り】

「尼崎青年会議所の活動や運動を周知する」事だけが目的になってしまっは、理念である「子ども達と夢を語れる「まち」尼崎」の実現に向けての運動を展開できていないと私は捉えています。真のブランディングとは、尼崎青年会議所の価値を高めることだけではなく、まち全体のブランディングを向上させる事であると考えています。まちの行政、各種諸団体と情報を共有し、市民にまちで実施されている事業を届ける起点を創造することで、「尼崎青年会議所の人」に聞けば、まちの情報がわかる。」と市民に認知され、まちの情報を収集・発信できメンバーに有益な学びを提供し、「子ども達と夢を語れる「まち」尼崎」の実現に向かって取り組むことが尼崎青年会議所に必要なブランディングであると確信します。

「まちに必要とされるサーバントリーダーが溢れる組織を確立しよう。」

【青年会議所のスケールメリットを感じる機会】

2019年12月、新型コロナウイルスによる感染症(COVID-19)が中国湖北省武漢市を中心に発生し、わずか半年足らずのうちに世界200以上の国・地域にその脅威が拡大し人々の生活が一変しました。

この変化の中で、当たり前が当たり前で無くなった時に、私はその『ありがたみ』=『価値』を知る機会を同時に得ることができました。

青年会議所は『奉仕』、『修練』、『友情』の三信条を基に『明るい豊かな社会の実現』に向けて歩みを止めることなく運動を展開してきましたが、今まで当たり前に行われてきた運動を実現する事が困難な時代が訪れました。

そして、尼崎青年会議所は入会3年未満が半数を超え、新たな時代に思いを託す転換期を迎えています。

人災や疫病により、青年会議所の活動・運動も制限され、会員が運動に関わる機会が減少している現状であるからこそ、国際青年会議所・日本青年会議所・近畿地区協議会・兵庫ブロック協議会等、各協議会にて発信される運動に触れる機会を提供し、スケールメリットを体感することで自身の視野を広げてほしい。

同じ時代に、同じ理念を持ち、活動を展開している仲間が全国にいます。新たな仲間と出会う機会を創出し、新たな気づきを得るための道標を未来へ紡ぎ、より高みを目指して、自身の世界を広げましょう！！

「百聞は一見に如かず、共に新しい世界を体感しに行こう。」

【今ある課題を未来に残さない。】

『今を生きる我々が、未来に向けて何を創出できるのか。』

青年会議所が与えてくれるのはあくまで機会の提供です。公益社団法人日本青年会議所第159回総会にて、「日本の青年会議所はSDGs達成に向けた運動を推進することを宣言する」

と全会一致でSDGs推進宣言が採択されました。もちろんこれには賛否があると考えていますもちろん義務ではないと理解していますが長期的な各LOMの共通的な事業項目としてSDGsの推進が採択されたとは私は捉えています。

皆様の周りの環境を見渡すとどうでしょうか。SDGsのホイールバツを付けて取り組む市民や、SDGsを推進している各企業が増え、さらに学生にもSDGsが認知されてきていると思いませんか。

そして尼崎市としても、総合計画を基に「尼崎版SDGs」を作成し、目標達成に向けてまちをあげて取り組んでいます。

私は、SDGsを市民と相互理解を育むことのできる共有のツールと捉えて、あくまで我々の根幹にある、「子ども達と夢を語れる「まち」尼崎」の実現を目指し、市民と協働する起点を創出する機会に活用してほしいと願っています。

青年会議所としてのSDGs推進宣言は、これが将来的に多くの国民の原動力となり、より良い社会が築かれ、良い社会から経済成長が実現し、私たち自身の未来が明るい豊かなものになるよう願って、先輩諸氏により展開された運動です。この先輩諸氏の想いを未来に繋げたい。そして言葉だけでなく、今ある課題を未来に残さず、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指し、子ども達と夢を語り続ける環境を紡ぎたい。

青年会議所は入会しただけで何かを得られるわけではなく、目の前にある機会に対して自ら足を踏み出すことからJC活動が始まります。その1歩から大きな気づきを経て、自身の成長へと繋がる。それは全て、支えてくれた仲間、背中を押してくれた仲間、叱咤激励してくれた仲間と呼べる存在と共に歩む事であると青年会議所活動に携わり確信しています。この先輩諸氏が示してくれた未来に向けての市民に通じるメッセージを胸に、市民と手を携えて新しいイノベーションを創出しよう。

「未来の子ども達に、今の自分達が語り継がれる新たな「歴史」を創出しよう」
【未来の子供たちへのメッセージ】

尼崎青年会議所の本質をメンバーが追求し、「子ども達と夢を語れる「まち」尼崎」を目指し続け、その時代に即した変化を我々が成し得た時に、未来に向けて関わる人々に必要とされ続ける持続可能な素晴らしい組織となります。

では、現在、我々が持っている「常識」は、10年先の未来でも「常識」として存在しているのでしょうか。これからの未来を考え、過去に捉われずに新たな「常識」を我々の手で創出する起点を作らねばならない時代に突入しているのではないのでしょうか。例えば、ゲームが「娯楽」ではなく「職業」に変化する時代を誰が想像できていたのでしょうか。10年前の私には想像すら出来ていませんでした。

しかしながら、視点を変えれば、「娯楽」を「職業」として確立させたいという人々がいた事、そして実際に行動し、実現させた人がいるという事です。さらに視点を変えると、そのようなことを検討し実現できるくらい物質的に豊かな国であるとも私は思います。この経済大国である日本で心を豊かに、思いを実現できる環境を整えることが大切なのではないでしょうか。

青年会議所は、自身の常識に捉われる事なく見識を広め、ユニークな発想を取り入れてイノベーションを起こし、目的に向かってアクションを起こす人材になる機会を提供できる場所で在り続けてほしい。

自身にない新しい発想を取り入れることを恐れず、時代に必要とされる趣味嗜好を反映し、面白いものを貪欲に取り込み、楽しませるための工夫や努力を重ねて、意識を変革する機会を創出し「子ども達と夢を語れる「まち」尼崎」を実現するために、世間や自身の「常識」に捉われない「傾奇者」として共に歩みましょう。

「今、ここにはない未来は、自分たちで創る。」

【結びに】

私は、今現在の社会は子ども達にとって本当に明るい豊かな社会を目指して夢を語る環境があるのかと自身に問いただと、自信を持って断言できないのが本心です。

だからこそ、品格ある青年経済人を目指す事のできる「最後の学び舎」で研鑽を積み、自信を持って面白いものは面白いと言い切れる。人を巻き込めるポジティブな起点を創り続けるリーダーとなれる修練(トレーニング)の機会をメンバーと共に未来に托したい。

向かう方向を間違えた時には仲間が道を示してくれます。経験や役職という形は関係なく自身に足りない部分は力を貸してくれます。それが尼崎青年会議所であると私は思っています。

自身の言葉に責任を持つためのポジティブな努力を積み重ねることのできる環境をより良く変化させ、後世に託したい。

「JCをしなければならぬではなく、JCがしたいと思う人材に溢れ、見えない未来にポジティブに取り組める同志がこのまちに溢れることを切に願って。」

基本方針

1. 一般社団法人尼崎青年会議所の理念、運動方針に沿った運動の展開
2. 新たな価値を創出する会員の拡大
3. SDGsの推進、尼崎市との連携
4. 各協議会への協力ならびに出向者支援
5. 会員の資質の向上
6. 青少年の健全な育成
7. 地域連携事業の実施